



2026 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 横浜ゴム株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 山石 昌孝
コード番号 5101 東証プライム市場
問 合 せ 先 経理部長 小河原 雅宏
(TEL. 0463 - 63 - 0414)

2026 年 12 月期 第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異
及び通期連結業績予想の修正（上方修正）並びに
中間配当及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

2026 年 5 月 15 日に公表いたしました 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2026 年 5 月 15 日に公表いたしました 2026 年 12 月期通期連結業績予想並びに 2026 年 2 月 19 日に公表いたしました中間配当及び期末配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異及び業績予想の修正

（1）2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異について

（2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）

	売上収益	事業利益	営業利益	親会社の所有者に帰属する 中間利益	基本的 1 株当 たり中間利益
前回発表予想 (A) (2026 年 5 月 15 日発表)	百万円 610,000	百万円 75,000	百万円 86,000	百万円 45,000	円 銭 286.25
実 績 値 (B)	639,397	95,846	109,699	72,578	461.62
増 減 額 (B－A)	29,397	20,846	23,699	27,578	—
増 減 率 (%)	4.8%	27.8%	27.6%	61.3%	—
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (2025 年 12 月期 第 2 四半期)	579,201	62,119	54,858	35,535	224.86

(2) 2026 年 12 月期通期連結業績予想の修正について

(2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

	売上収益	事業利益	営業利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1 株当たり当期利益
前回発表予想 (A) (2026 年 5 月 15 日発表)	百万円 1,300,000	百万円 188,000	百万円 191,500	百万円 109,000	円 銭 693.36
今回修正予想 (B)	1,320,000	192,500	199,500	117,000	744.11
増減額 (B－A)	20,000	4,500	8,000	8,000	—
増減率 (%)	1.5%	2.4%	4.2%	7.3%	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 12 月期 通期)	1,234,959	166,577	152,901	105,398	668.55

(3) 差異及び修正の理由

当社は、中期経営計画「YX2026」において、既存事業の「深化」と新しい価値の「探索」を同時に推し進め、次世代に負の遺産を絶対に残さないという強い意志のもと、変革の「総仕上げ」に取り組んでおります。

当第 2 四半期累計期間においては、OHT（オフハイウェイタイヤ）における原材料価格の計画比改善、為替の円安効果のほか、大戦略（グランドデザイン）に基づく「Best Alternative戦略」のもと、以下の取組みにより、前回（2026 年 5 月 15 日）公表の業績予想を大きく上回る過去最高の業績結果となりました。

- ・ タイヤ消費財における欧州・インドを中心とした増販、高付加価値品（AGW）の貢献
- ・ タイヤ消費財における環境変化に応じた価格転嫁
- ・ MB（マルチプル・ビジネス）における構造改革・拠点集約効果および航空部品（官需）等高付加価値品の伸長

また、通期連結業績予想につきましては、中東情勢などの不透明感はあるものの、価格転嫁をはじめとする対応策の着実な実行と、第 2 四半期累計期間における力強い業績結果を踏まえ、実質的な業績も引き続き堅調に推移することを見込み、前回（2026 年 5 月 15 日）公表の通期連結業績予想を上記のとおり上方修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

	年間配当金（円）		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2026 年 2 月 19 日発表)	62.0	110.0	172.0
今回修正予想		136.0	223.0
当期実績	87.0		
(ご参考) 前期実績 (2025 年 12 月期)	48.0	86.0	134.0

(修正の理由)

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化に必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への還元を経営の最重要課題の一つと位置付けております。

当社は、2022年までは外部環境に関わらず安定配当を維持してまいりましたが、2023年以降は配当性向20%とし、さらに2026年につきましては、成長投資の成果による利益向上を踏まえ、配当性向を30%へと引き上げ、株主還元のより一層の充実を図ることとしております。

こうした方針のもと、本日の通期業績予想の上方修正を踏まえ、2026年12月期の中間配当につきましては、1株当たり25円増配の87円とすることを決議いたしました。また、期末配当予想につきましても同様に、前回予想より1株当たり26円増配の136円に上方修正いたします。これにより、年間配当は前期実績より89円増配の1株当たり223円となり、「6期連続増配」となる予定であります。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上